

令和5年度

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・ 体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	86%	7%	7%	・利用人数や活動内容等に合わせて、部屋の使い方を工夫していました。
	② 職員の配置数は適切であるか	47%	33%	20%	・各事業で協力して取り組んでいます。 ・より効率的にかつ、よりよい支援のため、グループや職員配置を見直してはどうかとの意見もあります。
	③ 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	80%	13%	7%	・その年の利用児童に応じて、もっと見直せるのではないかと意見もあります。 ・写真や絵でわかりやすく提示
	④ 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	93%	0%	7%	・その年の利用児童に応じて、もっと見直せるのではないかと思います。 ・子ども達が降園後に毎日消毒しております。
業務改善	⑤ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	53%	40%	7%	・広く参画するにはどうしたらよいのか、時間の作り方を考える必要があります。 ・一人ひとりが意見を出しやすい雰囲気です。 ・職員の時間がなくて、少し出来ない時が見られます。
	⑥ 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	100%	0%	0%	
	⑦ 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	100%	0%	0%	・独自のホームページはないので、検討していきます。
	⑧ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	100%	0%	0%	
	⑨ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	93%	7%	0%	・スタッフ会議で内部研修しております。 ・スキルアップのため、職員は1年に1回、必ず研修に参加する機会があった方がいいと思います。
適切な 支援の 提供	⑩ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	100%	0%	0%	・評価分析はもっとした方が良い。どうしたらもっと効率的にそれが行えるのか考えています。
	⑪ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	73%	20%	7%	・評価分析はもっとした方が良いと思われ、どうしたらもっと効率的にそれが行えるのか考えていきます。
	⑫ 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」、「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	93%	7%	0%	・評価分析はもっとした方が良いと思われ、どうしたらもっと効率的にそれが行えるのか考えていきます。
	⑬ 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	93%	7%	0%	・評価分析はもっとした方が良いと思うため、どうしたらもっと効率的に行えるのか考えていきます。
	⑭ 活動プログラムの立案をチームで行っているか	67%	33%	0%	・十分とは言えず、チームとして行っていないので検討していきます。
	⑮ 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	80%	20%	0%	・十分とは言えないため、検討していきます。
	⑯ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	93%	7%	0%	
	⑰ 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	93%	7%	0%	・振り返りや検証改善は十分とは言えませんが、朝のミーティング時や送りノートで確認しています。

	⑮	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	67%	26%	7%	・随時の申し送り程度で、朝の打ち合わせのみの時もある。振り返りや検証改善は十分とはいえないため、検討していきます。
	⑯	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	87%	13%	0%	・随時の申し送り程度で、朝の打ち合わせのみの時もある。振り返りや検証改善は十分とはいえないため、検討していきます。
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	100%	0%	0%	・個別支援計画は6ヶ月で必ず見直しを行っております。
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	100%	0%	0%	・主に児発管と、必要や体制に応じて主に関わる職員が参画しています。
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	93%	7%	0%	
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障がい福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	86%	7%	7%	
	㉔	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	86%	7%	7%	・家族から伝えられる書類を通して行っていますが、直接的な連絡体制になっていないので、今後検討していきます。
	㉕	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	100%	0%	0%	・連携会議にて、情報共有や相互理解を図っております。
	㉖	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	100%	0%	0%	
	㉗	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	60%	27%	13%	
	㉘	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	13%	54%	33%	・行事予定には入っているが、コロナの関係で実施できない状況でした。
	㉙	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	33%	33%	33%	・施設長が主に参加。また連携会議や連絡会には、施設長以外の職員も参加してきました。
	㉚	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	93%	7%	0%	・送迎時や提供書等で保護者と情報伝達等を行っています。
保護者へ	㉛	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	100%	0%	0%	
	㉜	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	100%	0%	0%	
	㉝	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	100%	0%	0%	・個別支援計画の提示で同意を得ています。
	㉞	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	93%	7%	0%	
	㉟	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	100%	0%	0%	・パンビの会に場所を提供、合同行事(お祭り)を実施して連携を支援しました。

の 説 明 責 任 等	③⑥	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	80%	20%	0%	
	③⑦	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	100%	0%	0%	・(連絡体制)については、お便りに入れるのが良いと思います。現在の対応や防災訓練の報告など。
	③⑧	個人情報の取扱いに十分注意しているか	100%	0%	0%	
	③⑨	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	93%	7%	0%	
	④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	33%	47%	20%	・コロナなので招待は出来ませんでしたが、園庭の遊具はよく、地域の子どもたちが使っていました。(遊具の提供)
非 常 時 等 の 対 応	④①	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	100%	0%	0%	・会報で周知しています。
	④②	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	100%	0%	0%	
	④③	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	93%	7%	0%	
	④④	食物アレルギーのある子どもについて、示書に基づく対応がされているか 医師の指示に基づく対応がされているか	100%	0%	0%	
	④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	80%	13%	7%	・事故報告書の共有、回覧等を行う他、委員会や会議等で振り返りを行っています。
	④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	93%	7%	0%	・内部研修を行っております。
	④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	100%	0%	0%	・身体拘束の了解については、個別支援計画の他、契約時にも必ず説明を行い、別に保護者へ承諾書の記載を頂いております。

○この児童発達支援自己評価表は、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の職員の方に、事業所の自己評価をしていただくものです。

「はい」、「どちらともいえない」又は「いいえ」のいずれかに「○」を記入するとともに、「工夫している点」、「課題や改善すべき点」等について記入してください。